



なお21世紀に繰り広げられていること

1月の『学園だより』の「人の心に感じるもの」という一文を、私はこういう言葉で締めくくりました。「多くの困難が伝えられる時代ですが、せめて争いがない年でありたいものです」。

この文章を書いたのは、昨年11月の下旬頃でしたか、近年の近隣有事の現実味にいささかの憂慮を感じはして、何とはなしに嫌な雰囲気の時になってきたものだという思いはあるにはありました。しかし、その3カ月も経たないうちに、まさかウクライナで幾つもの都市が焼土と化し、無^む辜^この民間人が凌辱され、惨殺され、連れ去られ、本来平和を守ることを任務とするはずの軍人同士が彼我にわたって殺し合わなくてはならない大規模な戦争が、なお21世紀に繰り広げられようとは思っていませんでした。一方的に戦端を開いた当のロシアにとっても、失うものこそ大きくて、こんな無益な戦いはないでしょうに。

ロシアの独裁者がいまだに大ロシアの復活を夢見、国民経済を超える世界経済の時代にあってなお、勢力圏の緩衝地帯の確保といった企図に支配されているとしたなら、時代錯誤の幻想としかいいようがありません。戦争の世紀といわれた20世紀の歴史の中でも、これほど個人的な思い込みに起因する戦争など、ついぞ見たことがありません。あの暴虐非道の限りを尽くしたヒトラーの戦争でさえ、それでも第一次世界大戦の敗戦国ドイツの経済をメチャクチャにしたヴェルサイユ体制への反抗という、ハーメルンの^{ねずみおとこ}鼠男の魔法に呪縛された子供達のように^{あやつ}操られ、あれを後押ししたドイツ国民の熱狂がありました。今のロシアにこんな愚かな戦いを支持する熱狂などどこに見出すことが出来るのでしょうか。国の、いや、一国、二国ではありません、世界の行く末を左右する政治判断が一人の政治家の情念によって下されることがある、そのことを今更ながら思い知らされました。

『ロシア』という国を悪者にするのは簡単である。けれどもその国の正義がウクライナの正義とぶつかり合っているのだとしたら、それを止めるにはどうすればいいのか。なぜこのようなことが起こってしまっているのか。一方的な側からの意見に左右されてものの本質を見誤ってはいないだろうか？誤解を恐れずに言うと『悪』を存在させることで、私は安心していいだろうか？人間は弱い生き物です。だからこそ、つながりあって、とある国家に属してその中で生かされているともいえます。そうして自分たちの国がどこかの国を侵攻する可能性があるということを自覚しておく必要があるのです。そうすることで、自らの中に自制心を持って、それを拒否することを選択したいと想います」。

どういふ方かは存じませんが、これは、日本を代表する国立大学の入学式に出席した所謂文化人といわれる人の祝辞の一節です。しかし、他国の主権と自治と生存を無視し、戦車で

領土を蹂躪し、ミサイルで都市を爆撃し、民間人を虐殺し、どこから見ても侵略戦争としかいいようのない^{おぞ}悍ましい現実を前にして、この言説に象徴されるようなお手軽な抽象論をさも尤^{もつと}もらしく語ることが、どうも日本では文化人といわれる人士の役目とでも相も変わらず思われているようです。

私は、近代の国民国家を乗り越える世界国家が出来るとは思いませんし、如何なる社会もその社会を管理する権力機構・統治機構が必要となる以上、一定の地域に住まう人々の手の届かないところで全てが差配されてしまう世界国家などというものが本当のところ私達に幸福をもたらしてくれるものかどうか、大いに疑問にも感じる者です。だからこそ、近代国家には妥当な規模というものがあるのであって、帝国化するところに、国内に対しても国外に対しても無理して国家経営をしなくてはならなくなる理由があるように思います。ユーラシア大陸の西から東には、異なる文化を抱え、異なる宗教を奉じ、異なる生活を営む、あまりにも多くの異なる民族が暮らしているわけですが、これらの人々を一政府が^{たば}束ねるなど、それには余程の強権を必要とするでしょうし、その中で醸成される矛盾を解決するには^{ほこき}矛先を他国に向け覇権を求める異形の国家とならざるを得ない。

目の前の^{かんか}看過出来ない重大事を前にして、別の事柄を持ち出して、それを^{そうさい}相殺するか、あるいは糊塗^としてみせる手法は、私達がしばしば目にするインテリといわれる人達の常套手段ですが、もし知識人を自称するのであれば、200近い世界の国家を同列において、「自分たちの国がどこかの国を侵攻する可能性があるということ」を自覚しておく必要がある」と、したり顔して語るのではなく、この開かれた時代にあって強権主義と覇権主義の危険をどのように回避し、その問題をどのように克服するかということを議論することでしょう。

[>前のページへ戻る](#)